

先進事例：株式会社キャタラー

【主な取組】

2015年：社内で風しん感染者が発生

- ・保健所及び国立感染症研究所の指導のもと、マスク着用、集団活動自粛、社内緊急説明会等により従業員の先天性風しん症候群への理解、感染拡大防止に向け対応
- ・抗体確認（個別アンケートによる調査）
- ・ワクチン接種（近隣医療機関の協力で、就業時間内に社内外で集団接種。費用の7割を会社負担）

結果：抗体保有率27%（236名）→92%（818名、自己申告含む）

2018年：風しんが全国的に流行

- ・従業員の抗体保有を再確認（母子手帳、接種記録により確認）
- ・全額会社負担でワクチン接種（近隣医療機関の協力で社内接種）

結果：抗体保有率99.2%（2019年時点）

2020年度以降：国の風しん対策への実施事項

- ・対象世代の従業員は、定期健診に併せて抗体検査受検を勧奨

現在

新入社員、中途入社者、派遣社員の接種状況を確認し、クーポン非配布者には会社負担でワクチン接種。

【取組の背景】

- ・東日本大震災を機に、自然災害や感染症等の脅威に備え、事業継続マネジメント（BCM）の構築を推進。
- ・会社の最優先事項は、「人命・安全最優先」「地域社会への貢献」及び「お客様への確実な供給継続」である。



2015年の風しん発生時、全従業員へ緊急説明会を実施



職場での集団接種の様子。予約制により離業時間を短縮。定期健診、ストレスチェックなどと同時開催

【皆様にメッセージ】

風しんは感染力が強く、感染者が発生するとお客様や関係会社様にご迷惑をおかけし、事業活動に大きな支障が出ます。

弊社は、働く皆が安心できる環境を整え、家族や仲間を守り、先天性風しん症候群を発生させない社会を築けるように、現在も対策を継続しています。

風しんはお子さんやお孫さんまで辛い思いをさせてしまう病気です。クーポン受領者はもとより、すべての皆さまが企業健診や集団健診などを利用して抗体検査を行い、「風しんゼロ」の社会を築きましょう。